

平成25年2月13日

## 岩手県肝炎対策推進に対する意見

いわて肝友ネット  
阿部 洋一

### 1. ウイルス検査

#### 健康増進事業C型肝炎ウイルス検査実施数(40歳検診以外)

	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県
平成22年度	2,926	10,397	5,251	797	2,492	10,703
平成23年度	5,298	12,092	7,683	3,216	8,743	16,471
対前年比	1.81	1.16	1.46	4.04	3.51	1.54

	北海道	茨城県	栃木県	長野県	静岡県	全国
平成22年度	11,337	10,112	7,981	7,264	14,386	576,749
平成23年度	26,685	22,782	16,139	18,529	34,668	756,719
対前年比	2.35	2.25	2.02	2.55	2.41	1.31

- 岩手県の現状
- ・平成14年度以降、市町村健診事業は受検者が多く推移
  - ・受検率が把握されている(40以上B型54.4%、C型46.9%)
  - ・個別勧奨などの事業がよく理解されていない市町村がある
  - ・ウイルス検査の実施方法が市町村により違っている
- お願いしたい事
- ・市町村の実情について調査し今後の対策など協議会で検討
  - ・国の特別枠事業「個別勧奨、患者支援手帳、アドバイザー」などの事業の趣旨を市町村に再周知し協力を促してほしい
  - ・県、市町村、検査機関の連携の体制を明確にしてほしい
  - ・市町村の取組、進捗状況などを把握し協議会などに報告

### 2. 地域連携・診療体制

#### 肝炎インターフェロン治療受給者証交付件数

	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県
平成20年度	481	333	726	528	330	621
平成21年度	290	182	460	191	177	437
平成22年度	593	486	970	596	428	767
平成23年度	203	146	217	163	127	232
合計	1,567	1,147	2,373	1,478	1,062	2,057

- 岩手県の現状
- ・インターフェロン治療受給者数が少ない
  - ・肝臓専門医は東北他県より多い
  - ・専門医の地域別の偏在(肝炎かかりつけ医によりカバー)
  - ・専門医療機関、肝炎かかりつけ医まで遠い(13市町村に無し)
  - ・肝硬変・肝がんを治療する病院が限られる。
- お願いしたい事
- ・肝炎患者支援手帳の配布(患者全員に配布H25予定)
  - ・かかりつけ医受診者の専門医などへの紹介(肝機能値により)
  - ・身近なかかりつけ医でインターフェロン治療ができるよう検討
  - ・肝がんなどのクリティカルパスの導入
  - ・肝炎治療アドバイザーの役割の明確化(保健指導、受診勧奨)

今後の対策で、まだまだ救える命があります。関係者の更なる取組をお願いします。

## 各市町村のウイルス検査の実施状況

	個別勧奨申請	自己負担への補助	自己負担額	内 容
A 市	○		有り	H24から未受診者に通知した結果、受診者が300人増、事務処理減
B 市	○		有り	40～70歳節目検診案内、がん検診・肝炎検査を医療機関、特定検診は予医に委託
C 町			なし	未受診者に問診票の送付のみ、個別勧奨にはならないと思い申請しない
D 町	○	○	有り	40～60歳の節目の人にはがきで通知、それ以外は本人の申し出による
E 村			有り	医療機関に委託、特定検診時に本人の申し出により検査、個別勧奨未実施の経緯不明
F 市	○		なし	40～75歳の節目で未受診者にはがきで勧奨、特定健診時(集団健診)に検査
G 市	○		なし	40～75歳の節目で未受診者に受診通知書で勧奨、特定健診時(集団健診)に検査

- ・ 未受診者のデータにより未受診者に個別勧奨した結果、受診者が大幅増
- ・ 受診・未受診者の区分なく通知し、希望者を検査している(検査希望が少ない)  
(受診者のデータと突合しないのでダブって検査をしている)
- ・ がん健診、肝炎検査を医療機関で実施しているため、40～70歳の節目だけ案内送付
- ・ 個別勧奨の内容に適合しないと思われたので補助申請しなかった
- ・ 個別勧奨(節目)はしているが40～60歳までになっている